

第4学年 音楽 年間指導計画 (シラバス)

教科目標

<p>(1) 意欲、態度 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>(2) 表現 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにする。</p> <p>(3) 鑑賞 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。</p>
--

学習計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	1. 歌と楽器のひびきを合わせよう さくら さくら ・いるんな木の実 ・歌のにじ 5 とんび	・旋律を階名唱することができる。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って演奏することができる。	8
6 7	2. 日本の音楽に親しもう 花がさ音頭/神田ばやし ・こきろこぶし まきばの朝	・各地の民謡やお囃子を聴いたり、旋律の特徴や響きの違いを感じ取ったりする。 ・日本の各地に伝わる歌やお囃子を親しむことができる。	7
9	3. いろいろな音のちがいを感じ取ろう ・音集め ・音のカーニバル とんび/木管楽器	・音の特徴や音色の違いを感じ取って、集めた音の組み合わせを工夫して演奏することができる。 ・木管楽器それぞれの音色の違いを感じ取って聞き比べたり、その音色の美しさを味わうことができる。	10
10 11	4. ふしのとくちょうを感じ取ろう もみじ あいのあいさつ /ピチカート ポルカ ・陽気な船長 ・あたらしいえがお ・オーラリー	・旋律の特徴を感じ取って、歌い方を工夫することができる。 ・旋律の特徴を生かして、レガートやスタッカートなどの歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができる。	12
12	5. 曲の気分を感じ取ろう ・友だちシンドパッド つるぎのまい	・曲想を感じ取って、様子を思い浮かべながら聴くことができる。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて歌い方や楽器の演奏	7

	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の歌 	<p>の仕方を工夫することができる。</p>	
1	<p>6. 音をきき合って合わせよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレードホッホー きゆう友 	<ul style="list-style-type: none"> ・声や音が重なり合う響きを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができる。 ・お互いの声や音を聞きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができる。 	10
2	<ul style="list-style-type: none"> ・おどろう楽しいほーレチカ ・茶色の小びん 		
3	<p>7. 生き生きと歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グッデーグッバイ ・あしたがあるさ ・きみがよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って楽しく歌うことができる。 	6
合計授業時数		60時間	